

## 地域再生計画

### 1. 地域再生計画の名称

「海・技・人が光るまち くれ」水環境再生計画

### 2. 地域再生計画の作成主体の名称

呉市

### 3. 地域再生計画の区域

呉市の全域

### 4. 地域再生計画の目標

呉市は、広島県の西南部に位置し、人口約24万6千人（平成20年度末時点）、面積約354km<sup>2</sup>の、瀬戸内海に臨む都市の中で最も長い海岸線（約300km）を持ち、広島県内で指定されている瀬戸内海国立公園（陸地面積）の約40%（約42km<sup>2</sup>）を占める、自然環境にも恵まれた気候温和な都市である。島しょ部は、みかんの産地として知られており、古くから潮待ち・風待ちの港として栄えた面影を今も残している。特に、国から重要伝統的建造物群保存地区に選定された御手洗地区を有する大崎下島や、「日本の渚百選」にも選ばれた「県民の浜」のある上蒲刈島など、瀬戸内海の豊かな自然、歴史・文化に彩られた地区となっている。

本市に鎮守府が開庁された明治22年当時の人口は、まだ2万人程であったが、軍港として発展するにしたがって次第に増加し、時代が大正に移る頃には10万人を超えていた。その後、第二次世界大戦時には、戦艦「大和」を建造した東洋一の軍港として栄え、ピーク時には人口40万人を超える全国でも有数の規模の都市へと成長した。戦後は、造船・製鋼などの海軍で育まれた技術遺産を活かしながら、世界最大級のタンカーを生み出す臨海工業都市として、海との深い関わりの中でその姿を変えてきた。

近年は観光振興によるまちづくりにも力を注いでおり、平成17年4月には、本市のランドマークともいえる呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）をオープンしている。また、数々の映画のロケ地として有名になったことに加え、「大和」ブームにも後押しされ、観光客は以前と比べて倍増している。また、長年の念願であった島しょ部を結ぶ最後の橋が平成20年11月に完成したことにより、御手洗地区などの観光資源を最大限に活用することができるようになった。

これらの地域資源の魅力を引き立たせ、観光客を惹き付けるという大きな役割を担っているのが、美しい瀬戸内の風景であることは言うまでもないところである。閉鎖性水域である瀬戸内海は、かつての高度経済成長時には工場から排出された汚水により著しく汚染されたが、その後の急速な下水道整備に加え、近年は市民の環境意識が高まってきたこともあり、目立った汚染は無くなってきている。

しかしながら、海域汚濁の指標であるCODについては、環境基準値を超えている地点もあり、公共用水域の一層の水質改善が求められている。そこで、海域に排出される汚濁負荷量を削減するため、公共下水道、農業・漁業集落排水施設及び浄化槽の各汚水処理施設を、より効率的、より経済的に整備するとともに、海浜の清掃活動を啓発し、瀬戸内海の環境保全意識の向上を図る。以上により、昔日の美しい瀬戸内海を取り戻すことを通じて、市内各地の魅力ある地域資源の再生を目指す。

## (目標)

汚水処理施設の整備の促進

(呉市全域での汚水処理人口普及率を88%から92%に向上)

※当交付金以外の事業も含む

## 5. 目標を達成するために行う事業

### 5-1 全体の概要

汚水処理施設整備交付金を活用し、公共下水道及び浄化槽(個人設置型)との一体的整備を進める。

公共下水道事業では、安浦処理区において管渠整備を進めるとともに、集合処理区域以外の個人で設置する合併浄化槽に対して補助することにより、市全域で汚水処理施設の整備を促進し、生活環境の改善や公共用水域の水質改善を図る。

### 5-2 法第五章の特別の措置を適用して行う事業

汚水処理施設整備交付金を活用する事業

対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を了している。

なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

- ・公共下水道(安浦処理区)・・・平成2年9月に事業認可を取得し、その後、7回の変更を経て事業を継続している。

#### [事業主体]

- ・呉市

#### [施設の種類]

- ・公共下水道、浄化槽

#### [事業区域]

- ・ 公共下水道 呉市安浦処理区
- ・ 浄化槽 呉市の集合処理区域以外の区域および集合処理による整備に長期間を要する区域

#### [事業期間]

- ・ 公共下水道 平成22年度～26年度
- ・ 浄化槽 平成22年度～26年度

#### [整備量]

- ・ 公共下水道 管渠φ100～200 4,760 m
- ・ 浄化槽（個人設置型） 225 基

なお、各施設による新規の処理人口は次の通り。

- ・ 公共下水道 安浦処理区で450人
- ・ 浄化槽 市全域(集合処理区域以外)で500人

#### [事業費]

- ・ 公共下水道 事業費 280,000 千円 (うち、交付金 140,000 千円)
- ・ 浄化槽（個人設置型）  
事業費 86,550 千円 (うち、交付金 28,850 千円)
- 合 計 事業費 366,550 千円 (うち、交付金 168,850 千円)

### 5-3 その他の事業

#### ①「リフレッシュ瀬戸内」活動

美しい瀬戸内海を自分たちの手で守り、貴重な財産として次の世代に引き継いでいくため、一人一人が身近なところから行動を起こし、市民全体が環境保全に関心を持つことが必要である。その意識向上の一環として、海浜の清掃活動を実施している。

#### ②呉地域海洋環境プロジェクト創出研究会

海洋資源の活用を図り、「海洋環境産業」の創出を目指して、平成15年度に設置された。干潟・水質・底質の環境修復や改善技術の試験および実証のための海洋実験を行っている。

## 6. 計画期間

平成22年度～26年度

## 7. 目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後に、4に示す数値目標に照らし達成状況を調査・評価し、公表するとともに、呉市及び関係機関からなる「(仮称)呉市水環境再生会議」を開催し、改善すべき事項の検討等を行うこととする。

## 8. 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし